



平成16年8月18日

各位

会社名 旭硝子株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 門松正宏
(コード番号 5201 東証第1部)
問合せ先 広報室長 川上真一
(TEL. 03 - 3218 - 5408)

窯業建材事業部門の分社化によるトステムとの事業統合に関するお知らせ

旭硝子株式会社(本社:東京都千代田区、社長:門松正宏)は、平成16年8月18日開催の当社取締役会において、トステム株式会社(本社:東京都江東区、社長:菊池光男、以下トステムという)と、両社の外装建材事業を以下の通り統合することを決議し、同日、当社は同社との間で、「外装建材事業に関する基本合意書」を締結いたしましたのでお知らせいたします。

なお現段階では会社分割及び合併新社の詳細などについて未決定ですが、これらについては分割契約書、合併契約書、株式売買契約書の締結時に改めてお知らせ致します。

1. 当社は、本年12月1日を目途に同社の完全子会社である旭硝子外装建材株式会社(本社:東京都墨田区、社長:広瀬稔、以下AGKという)を承継会社とする窯業系外装建材事業の物的吸収分割を行い、同社事業を一社に集約化する。
2. トステムは、来年1月5日に承継会社の株式の50%を当社から取得し当社と共同して会社(以下合併会社という)運営を行う。

記

1. 会社分割及びトステム資本参加の目的

外装建材の全体需要は今後、横ばいか若干縮小すると予想されるなか、業界各社は再編を加速させております。

このような状況の中、当社は窯業系外装建材において単一製品、単一販売ルートしか持たず、一方、トステムは窯業系外装建材の生産能力が極めて小さいため、両社とも苦戦を強いられ、互いに提携先を模索しておりましたが、この度、両社の弱みを補完し合い、両社の強みを融合させる外装建材事業統合の形態が両社間で確認できたため、今回の合意に至りました。

なお両社の事業を統合する場合、中核となる組織が必要なため、当社は本年12月1日を目途に、窯業系外装建材事業の販売子会社であるAGKを承継会社とする当社の窯

業建材事業部門の物的吸収分割を行い、同社事業を一社に集約化致します。

その後トステムは、来年1月5日に承継会社の株式の50%を当社から取得し、当社と共同して会社（以下合弁会社という）運営を行います。

2. 会社分割及びトステム資本参加の要旨

1) 会社分割及びトステム資本参加の日程

平成16年8月18日	基本合意書の締結
平成16年10月上旬(予定)	分割契約書の締結
平成16年10月下旬(予定)	合弁契約書の締結
	株式売買契約書の締結
平成16年12月1日(予定)	分割期日
平成17年1月5日(予定)	当社所有の承継会社株式のうち50%をトステムへ譲渡

2) 会社分割の要旨

分割方式

当社を分割会社とし、既存の当社100%子会社であるAGKを承継会社とする物的吸収分割です。

当該分割方式を採用した理由

当社の窯業系外装建材事業を一体化することが目的であり、当該事業の販売機能は既に存在するAGKが担っていたため、当社内にあった製造、開発、事業統括等の機能を担う窯業建材事業部門をAGKに分割吸収することとしました。

株式の割当

AGKが本分割により発行する株式数は現時点で決定しておりませんが、全て当社に割り当てられます。

承継会社が承継する権利義務

承継会社は、分割期日において当社窯業建材事業部門において行なわれている事業及びこれに関連附帯する事業に係る資産及び負債等について、事業遂行に必要と判断されるものについては当社から承継する予定です。

但し、当社鹿島工場に属する土地については承継せず、承継会社へ賃貸することにしております。

また分割期日において窯業建材部門に従事する従業員は承継会社の従業員を除き、当社から出向とする予定です。

3) 当社が有する承継会社株式のトステム購入対価について

分割時点における承継会社の純資産額に1/2を乗じた金額とすることとしておりますが、承継会社の純資産額は現時点ではまだ確定しておりません。分割契約書締結時に、購入対価については改めてお知らせ致します。なお当社から承継会社に承継する当社の本事業に関する純資産のうち、有形固定資産の額は45億円とすることとしております。

3. トステム資本参加後の合併会社の概要

1. 社 名 旭トステム外装株式会社
2. 分割期日 平成16年12月1日
トステム資本参加 平成17年1月5日
3. 所 在 地 東京都江東区大島二丁目1番1号
4. 資 本 金 20億円
5. 資 本 構 成 旭硝子50% トステム50%
5. 代 表 者 未定。但し、トステムからの出向者が就任の予定
6. 従 業 員 数 約360名
7. 事 業 内 容 窯業系外装建材の製造・販売
金属系外装建材、タイル等の販売
8. 製 造 拠 点 合併会社が旭硝子から承継する現旭硝子鹿島工場
(茨城県鹿島郡神栖町)の当該事業製造設備
その他トステムからOEM供給を受ける
9. 売上高(予想) 310億円(2005年度)

4. 分割当事会社の概要

(平成16年6月30日現在)

(1) 商号	旭硝子株式会社 (分割会社)	旭硝子外装建材株式会社 (承継会社)
(2) 事業内容	ガラス・化学製品などの製造 及び販売	住宅用外装建材の販売
(3) 設立年月日	昭和25年6月1日	平成5年4月30日(設立 時は旭硝子大阪建材(株)の 名称) 平成8年4月1日に合 併し現社名に変更
(4) 本店所在地	東京都千代田区有楽町 一丁目12番1号	東京都墨田区江東橋 二丁目3番10号
(5) 代表者	取締役社長 門松 正宏	取締役社長 広瀬 稔
(6) 資本金	90,472百万円	95百万円
(7) 発行済株式数	1,175,242,497株	1,900株

(8) 株主資本	599,341 百万円	146 百万円
(9) 総資産	1,066,842 百万円	7,765 百万円
(10) 決算期	1 2 月 3 1 日	1 2 月 3 1 日
(11) 従業員数	6 , 1 0 0 人	1 2 2 人
(12) 主要取引先	旭硝子外装建材(株)、 旭硝子ファインテクノ台湾、 三菱商事(株)、他	伊藤忠建材(株) 住友林業(株) (株)佐渡島、他
(13) 大株主及び 持株比率	日本マスタートラスト信託 銀行信託口 6.82 % 日本トラスティサービス 信託銀行信託口 6.18 % ザチェースマンハッタン バンクエヌエイロンドン 5.49 % 明治安田生命保険 4.52 % ステートストリートバンク アンドトラスト 4.17 %	旭硝子 100%
(14) 主要取引銀行	東京三菱銀行 みずほ銀行	UFJ 銀行
(15) 当事会社の関係	資本関係	旭硝子株式会社は旭硝子外装建材株式会社に 100 % 出資している
	人的関係	旭硝子株式会社は、旭硝子外装建材株式会社に取締役、監査役を派遣し、職員を出向している
	取引関係	旭硝子株式会社は窯業系外装建材を旭硝子外装建材株式会社に販売。旭硝子株式会社は旭硝子外装建材株式会社に販売手数料を支払う。

(16) 最近 3 決算期間の業績

	旭硝子株式会社 (分割会社)			旭硝子外装建材株式会社 (承継会社)		
	14 年 3 月期	15 年 3 月期	15 年 12 月期	13 年 12 月期	14 年 12 月期	15 年 12 月期
売上高 (百万円)	550,108	542,843	413,656	24,131	21,369	20,534
営業利益 (百万円)	4,411	5,263	5,817	22	52	30
経常利益 (百万円)	6,984	11,046	8,870	23	35	17
当期純利益 (百万円)	14,899	28,763	14,759	6	9	32
1 株当たり当期純利益 (円)	12.68	24.49	12.54	3,052	4,877	16,772
1 株当たり配当金 (円)	9.00	9.00	6.75	-	-	-
1 株当たり株主資本 (円)	489.37	443.21	479.45	71,751	76,628	59,856

*旭硝子株式会社は、平成 15 年 1 2 月期より決算期を変更しています。

4. 分割する事業部門の内容

(1) 窯業建材事業部門の内容

- ・窯業系外装建材の製造、開発
- ・窯業系外装建材（含む附属部材）の購入、配送

(2) 窯業建材事業部門の平成15年12月期における経営成績

	窯業建材事業部門 (a)	当社平成15年12月期実績 (b)	比率(a/b)
売上高(百万円)	14,127	413,656	3.4%
売上総利益(百万円)	1,566	75,651	2.1%
営業利益(百万円)	1,421	5,817	-

(3) 承継資産、負債の項目および金額(平成16年6月30日)

現時点で、承継会社に承継する資産・負債の金額は未定です。

5. 分割後の当社の状況

(1) 商号

旭硝子株式会社

(2) 事業内容

ガラス・化学製品などの製造及び販売

(3) 本店所在地

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号

(4) 代表者

代表取締役社長執行役員 門松 正宏

(5) 資本金

90,472 百万円(平成16年6月30日現在の資本金であり、分割による資本金の減少はありません)

(6) 総資産

平成16年6月30日時点での総資産額は、1,066,842 百万円です。なお分割に伴う当社資産の減少額は、現段階では確定しておりません。確定次第、改めてお知らせ致します。

(7) 決算期

12月31日

(8) 業績に与える影響

分割後の業績見通し

今回の分割に伴い有形固定資産を45億円で承継会社に承継することにより、今期において営業移転損が70億円発生する見込みです。本件は5月10日に発表した業績予想に既に織り込んでおります。

分割後の連結業績見通し

上述の通り、今期において70億円の損失が発生する見込みです。本件は5月10日に発表した連結業績予想に既に織り込んでおります。

以 上